

(1) 振甫遊泳場南入口。右端は飛込臺。

振甫游泳場の設備並に築造工事

名古屋市水道部長 池田篤三郎

一、位 置

名古屋市東区千種字振甫

(市電覺王山線池下停留所北約一丁)

二、競 泳 池

長さ50米、幅22米、深さ兩端部 1.5米中央部 2.1米。水路9本を設け水路の中心線には水路標示の爲黒色「タイル」を使用す。兩側壁には水中照明器を25個づつ使用し夜間使用に備へ、尙池の周圍には消波並に表面浮遊物排除の目的で溢流堰が設けてある。

本池は競泳池として甲種公認となつて居る構造は鉄筋混凝土造りで側壁の内面上半部

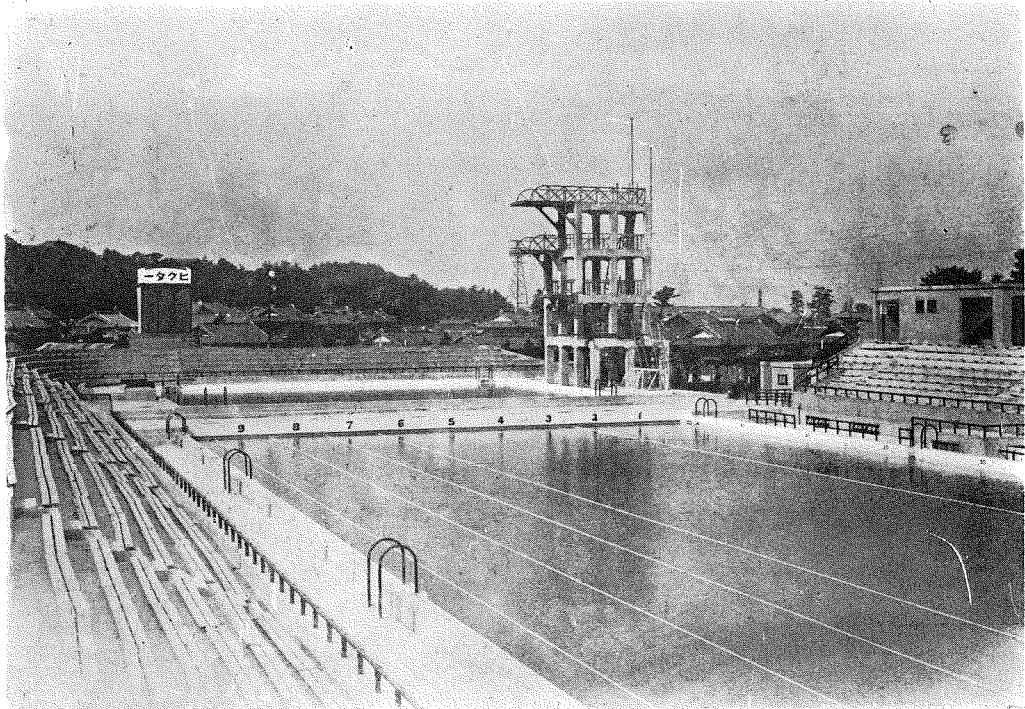
は白色磁器「タイル」を張り下半部は白色「セメントモルタル」、底部は普通「モルタル」仕上とす。

三、飛 込 池

長さ22米、幅17.4米、深さ約5米。競泳池と共に水球競技の出来る設備あり。構造は競泳池と同様で只水路としての設備がないだけである。深さが深いので池を空にした場合地下水の浮力が大きいので底部に安全辨6個を設置せり。

四、飛 込 臺

固定式飛込臺 水面上 高さ5米、7米、10米



(2) 振 甫 遊 泳 場 全 景。

「スプリング」式飛込臺 水面上 高さ3米、
10米。

構造は鉄筋混凝土造の四層檣にして飛込池
の西側中央部にあり。

五、練 習 池

長さ25米、幅20米、深さ 0.6 米と 1 米の二
段に調節し得。主として初心者の練習用に
使用す。

側壁は鉄筋混凝土造にして底部は混凝土塊
張なり。

六、観 覧 席

観覧席は主観覧席及一般観覧席の二種に別
れ主観覧席は競泳池の西側に全部鉄筋混凝土
で階段式に造つてあつて観衆3000人を収
容し得る。其の北隅には出發線を含み審判
席、貴賓席、放送者席、記者席等の設備あ
り。

主観覧席の下には入場券賣場、更衣室「シ
ャワー」室、溫浴室、選手室、役員室、救
護室、事務室、賣店、便所等を男女並に兒

童用として夫々區別して設備せり。

一般観覧席は競泳池の北側及東側並に飛込
池の東側及南側に盛土をなし其の上に混凝
土塊を張り階段状となす。約5000人を收容
し得る。

七、照 明 装 置

夜間開場の爲室外は毎平方米5「ワット」の
標準にて點燈し其他に飛込臺と水面間の照
明用として投光器數個を取付け競泳池及飛
込池の兩側壁には 500「ワット」の水中心照
明器を6米の間隔に装置せり。

餘 白 を か り て

十一月十四、五、六の三日にかけて、久須
美君と星君が名古屋、伊勢方面に出かけまし
た。其地の皆様は大變お世話になつて、御土
産をどつきり戴いて歸りました。それ等はい
づれ號を遂ふて誌上に發表される筈です。今
月は取敢へず此處に見る様な記事及寫眞を掲
げました。お忙がしい時間をさいて兩君を御
引見下さいました方々に、餘白を借りて厚く
御禮を申し述べます。(編輯部)